ツナかま先生こんにちは、いつもあなたの作品が大好きで、苦労して描いてくれてありがとうございます。私は文筆家で、普段はくすぐりや女子の調教について書いています。ちょっと面白いアイデアがあるので説明させていただきますが、私のアイデアがツナかま先生の作品作りのヒントやインスピレーションになれば幸いです。

1つ目のアイデアは**24**番の作品の洗浄と夜間放置です

背景:月に1回、夜の閉館時にアイドルたちを洗い流し、翌日より良い状態で展示できるようにします。24番のペニスに触れられるのはこれが唯一です24日が好きなファンに比べて、24日の肉棒を掃除する少女展示館のスタッフは、何の憐れみも愛情もなく、1つのアイテムのように徹底的に掃除してくれます。

パート1:陰茎の自由を奪い洗浄を行います

ペニス洗浄を行う前に、24のチキンバーはロープか何かでその場に固定されて勝手に動くことができません。少女展示館からペニスの「移動権」を没収され、いつものようにペニスを動かせるわけにはいきません。続いて洗浄員は24日に射精と回避が許されない状態で、高圧水銃でペニスを洗浄し、媚薬を混ぜたローションを塗り、たくさんの突起のある手袋でペニスと睾丸をくすぐってマッサージし、最後にブラシで肉棒を完全に洗います。紙やすり、ガーゼなどで亀頭を磨いて、きれいに洗います。24日はこれらのわずか十数秒で十分に人にすべての貯蔵の精液を射出させる拷問を享受して、しかし尿道錠は彼女の射精を阻止しました。尿道といえば、ペニスの洗浄が最後に行われる場所です。24番の根元に射精禁止リングをつけ、尿道のロックを外した後、試験管ブラシをつけたドリルを使って、媚薬をつけたまま24番の尿道の奥まで入り、回転と抜き取りできれいに掃除します。試験管ブラシの一本一本の毛は、尿道の内側のデリケートで柔らかい肉をかすめ、一本の毛でも震えるほどの威力を持っています。まして今は何百本、何千本もの毛です。強烈な刺激の中で、24番の体のすべての筋肉はすでに射精の準備をしていて、射精禁止リングが彼女の射精を阻止し、彼女の精液が再び尿道を汚すことを防ぎました。

洗浄の間、ペニスが固定されているため、逃げることも移動することもできず、欲望をためるしかありませんでした。ようやく洗いが終わっても、さらに徹底的に洗うためにスタッフが何度も繰り返します。完全に洗い終わったら、24番の肉棒にかゆみの原因となるとろろ汁とイラクサを混ぜた春薬を塗り、再び尿道栓をして一晩中放置します。

パート2:ペニスの自由を返し、徹夜で放置します

24日はこの時やっと望み通り自由にペニスを勃起させることができて、もちろんこの自由は相対的な自由です。肉棒を適切な勃起状態に保つことで、薬液の吸収が促進されることがわかっています。少女展示館は、女の子たちが適切な勃起をするのを助ける装置を研究しました。

より大きなリングが24番のペニスを貫通し、睾丸を挟むクリップがあります。リングの上部には振動するたくさんの突起があり、触れると陰茎を刺激しますが、同時に陰茎に電気ショックを与えます。また、強烈な電気ショックや振動で強引に勃起してしまうこともありますが、どうにかして肉棒をリラックスさせようとします。もし彼女のペニスがリラックスしすぎていると、リングの下のトゲのある部分に触れてしまいます。そしてリングの下に近づけば近づくほど、睾丸のクリップはより強く挟まってしまいます。とにかくこの装置のおかげで、女の子たちは思いきり自分の性欲通りに勃起することができなくなり、性欲をコントロールしなければならなくなったのです。

この時点で24番のペニスは薬液を塗っているのでかなりかゆく、内側から外側までくすぐったい

のですが、彼女は手で掻くことができません。時間が経つにつれ、24日には肉棒を振って空気をこすってかゆみを取ろうとするほどのかゆみが出てきます。しかしリングのおかげで彼女はペニスの小さな動きしかコントロールできず、ミスをして勃起の幅が大きすぎると、彼女のペニスはリングの上に触れてしまうのです!さらに媚薬の刺激で性欲も高まり、ますますコントロールが難しくなる。自由の代償を味わった今、彼女は拘束されてペニスを苦しめられていた頃を懐かしく思います。

24日は徹夜で退屈しないよう、イヤホンにはファンが録音した女性が24日に向かってオナニーや性的妄想をするASMR音楽が流れ、突然「0」という音が出るなど、神経が尖っていた彼女を一瞬で勃起させます。また、隣の23番も「勃起させることを誇りに思う」という思いのもと、エッチな仕草をして24番を勃起させていました。一晩中、ペニスに触れることも射精することもできなかった彼女は、性欲と痒みに呑み込まれてしまい、それは昼間よりもひどいものでした。

パート3:ファンからのプレゼントです

ずっと勃起しているなんてペニスにとっては大変なので、ファンたちはお金を集めて24日に内部にトゲの突起があるハート形の貞操鎖をプレゼントしています。それは低周波の振働を維持して24日のペニスをマッサージしています。24日は20センチほどあったペニスが貞操錠でつながれ、1センチの長さしかなくなっています。鍵をかけている間、24日のペニスは勃起も射精も不要で、ゆったりと休息を取ることができ、ファンからのプレゼントに感謝することでしょう。その間、ディスプレイの代わりにフェイクペニスを使うことができます。ただ一つ悪いのは、彼女のファンが見学に来たとき、彼女が「0」と言っても、この偽ペニスが反応しないことです。(他にも24番の感じの良いペニスを作って、グッズとしてファンに買ってもらうことも考えています。ファンはペニスを触手の詰まった箱に入れ、媚薬の詰まった缶に浸し、拷問道具として彼女のペニスを鞭で打つか、マスターベーション用の飛行機コップをかぶせることができます。

2つ目は捜査官姉妹花の射精に耐えて挑戦します

背景:AちゃんとBちゃんはある机関の捜査官で、「少女展示館」の調査を命ぜられていた実の姉妹ですが、捕まってしまいます。捕獲された直後に少女展示館で拷問が行われたのですが、間もなく彼女たちは情報をすべて話してくれました。自供した彼女たちはおもちゃとして壁に固定され、足の裏、ペニス、お尻が露出しています。彼女たちは貞操鎖をつけられて強制的に反省させられ、毎日大量の媚薬やくすぐったい液体をペニスに塗られますが、勃起も射精も許されません。射精禁止の拷問の中で、彼女たちは相手の声を聞くことができて、良い姉妹である彼女たちはお互いに懸命に相手を鼓舞します。約1ヵ月後、拷問要員たちはAちゃんとBちゃんを思い出して遊んでみることにしました。

拷問スタッフが部屋を訪れると、AちゃんとBちゃんは人が来るとすぐに勃起と射精をお願いします。許しを乞うなど、とても仲が良さそうです。

「射精と勃起を禁止してから1か月なのに、今までの勢いがなくなっちゃうじゃないですか」拷問関係者にからかわれる中、AちゃんとBちゃんは射精我慢チャレンジを命じられ、チャレンジに成功すれば1か月の勃起自由とオナニー自由が与えられる。失敗した場合はかなり厳しい罰が与えられます。さっきまで仲の良かった姉妹が、今ではライバルになっています。

挑戦の開始が宣言されると、拷問係は貞操錠を外し、彼女たちの熱いペニスに試しに触れてみました。軽く触れたり、擦ったりしただけで、二人のペニスは激しく拍動し始めました。拷問員が尿道栓を抜くと、尿道が擦れて、二人はもう少しで射精しそうになりました。どろどろした精液が尿道にひっかかって苦しくなったのは、ほんの始まりにすぎません。拷問担当者は、羽や小さなブラシなどでペニスを刺激しました。ウォームアップした後、拷問員はAちゃんとBちゃんの亀頭に球形のブラシをかぶせました。このブラシの中はざらざらした突起とブラシの毛でいっぱいで、絶えず回転摩擦の中で、間もなくAちゃんの射精の限界に達しました。

「止めてくださいだめです!精液が尿道の真ん中にありますから止めてください! !」必死に生きようとしたAちゃんは、拷問関係者もBちゃんも信じられないような行為をしました。彼女はBちゃんの弱点を暴いて、拷問関係者に少しでも嫌がらせをやめさせることを決めました。

「あああBの弱点を言えます止めてください! !」それを聞いた拷問スタッフはブラシの回転速度を落としましたが、同時にAちゃんがBちゃんの弱点は足の裏!まだ射精に耐えていたBちゃんは、それを聞いて体を震わせました。姉が自分の弱みを口にするのが信じられず、否定しようとしましたが、拷問要員の指がBちゃんの足の裏に触れた途端、Bちゃんのペニスが激しく震え始めました。すると、拷問スタッフは足の裏を手でいじくり、射精を促し、最後は振働棒を使って足の裏を刺激し、完全に射精寸前まで追い込んだのです。ペニスよりも足の裏が敏感なBちゃんは、自分が早く射精しないためにも、Aちゃんの弱点を打ち明けることを選びました。

「Aちゃんの弱点は肛門です!」すぐに拷問スタッフが肛門と前立腺をいじめるようになり、2人とも射精に耐えられなくなりました。

そして相手の挑戦を失敗させるため、励まし合っていた彼女たちがなんと射精を画策するのです!

「Aちゃん、肛門を刺激されるのが気持ちいいでしょう、帯を侵されて、ザーメン出して、他のこと考えるな!また前立腺が絞り込まれて、精液を少しずつ絞り出すようになっているので、出さないと苦しいですよ~」

「Bちゃん、弱点の足の裏はもう降参ですよね?捜査官といっても、足の裏が性器になっていて、その足を刺激するだけで射精する奴隷ですよね!射精射精射精射精します!早くザーメン出してよ~足の裏で1回射精したら完全に帰れませんよ!」

ついに拷問スタッフはブラシでBちゃんの足の裏を、振働棒でAちゃんの肛門をいじくり、射精寸前の彼女たちを言葉で刺激します。

「姉妹捜査官というのは最終的に裏切られて、足裏や肛門を刺激されて射精しそうになって、それを言ったら人生終わりでしょうな~じゃあ快感も人生も全部ザーメンに出してしまえ!」

性欲に頭を完全に乗っ取られた彼女たちは我慢できなくなり、ペニスが彼女たちの脳を完全に支配し、コントロールを奪ってしまったのです。射精直前に刺激を止めたため、精液はチューブから歯磨き粉を押し出すように尿道からゆっくりと出てきますが、この「射精」には何の快感もありません! !精液が彼女たちのペニスの下にある捜査官証の上にゆっくりと流れて覆いかぶさり、彼女たちの人生は完全に終わり、足裏と肛門だけを刺激して射精する奴隷となってしまいます。結局、二人とも挑戦に失敗し、気持ちよく射精することもできず、相手の弱みまで言いふらされてしまいました。挑戦に失敗し、再び貞操錠をかけられることになりますが、今度は机械がAちゃんの肛門やBちゃんの足の裏を刺激し続けます。きっと後悔しますよ!

以上が私の考えです。最後に改めて申し上げますが、これらのアイデアは私の箇人的なアイデアですので、少し足りないところがあるかもしれませんし、また、ツナかま先生はあなたのペースで作品を作ることができるので、私はアイデアを提供するだけです。もし先生が役に立つとかヒントがあると思ったら好きに選んで使ってもいいですし、私も暇な時にもっと面白い遊び方を整理して参考にしてあげます。

最後に、改めて日頃のお絵に感謝します!僕はいつもツナかま先生の作品を応援しています!